

Upside10

アップサイド10

【引受保険会社】



株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
II型

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2015年度 (2015年4月～2016年3月) 特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
 - ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
 - ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2015年4月～2016年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比△12.70%下落の1,347.20ポイント(前期末は1,543.11ポイント)で終了しました。今期前半は、企業業績の拡大期待などから上昇基調で推移した後、中国景気の減速懸念などを背景に大幅に下落しました。今期後半は、補正予算・法人税減税などの先行きの政策期待などから一転上昇した後、急速な円高に加えて、10年国債利回りがマイナスとなったことで運用環境の悪化懸念が高まり、再び大幅に下落しました。期末にかけては原油価格の動向や各国の追加金融緩和を巡る思惑などから上昇基調で推移しましたが、前期末比較で下落して今期を終えました。

業種別(東証33業種)では、主要企業の業績拡大期待が高まった「水産・農林業」(前期末比+29.63%)が最も上昇した一方、中国経済の減速により海上運賃市況が大幅に悪化した「海運業」(同△38.34%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、下落しました。NYダウは前期末比△0.51%下落の17,685.09ドル(前期末は17,776.12ドル)で終了しました。今期前半は、ギリシャ債務問題などから小幅な揉み合いで推移した後、中国景気の減速懸念などから大幅に下落しました。今期後半は、米大手金融企業の好決算などから大幅に上昇した後、中国景気の減速懸念などを背景に大幅に下落しましたが、先行きの米国での利上げペースが緩やかとの見方が強まったことなどから、一転、期初の水準近くまで値を戻して今期を終えました。

欧州株式市場は、下落しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、今期後半は、中国株式や原油価格の下落などから大幅に下落した後、追加金融緩和と観測などから上昇に転じましたが値を戻すまでには至らず、今期を終えました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比△8.83%下落、仏CAC40は同△12.88%下落、独DAXは同△16.72%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利はマイナス圏まで低下しました。新発10年国債利回りは△0.05%となりました(前期末は0.40%)。今期前半は、欧米金利の上昇などにより金利は上昇(価格は下落)しましたが、米利上げ見送りや日銀の追加金融緩和への思惑などから、低下(価格は上昇)基調で推移しました。今期後半は、日銀のマイナス金利導入決定により急速に低下した後、プラスの利回りを求めて超長期国債を買う動きが加速したことなどから、金利はマイナス圏まで低下して、今期を終えました。

無担保コール翌日物金利は概ね0.0から0.1%近辺で推移していましたが、その後日銀が一部当座預金にマイナス金利を適用したことを受けて水準を切り下げ、概ね△0.02～0.01%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利は低下しました。米10年国債利回りは1.77%となりました(前期末は1.92%)。今期前半は、原油価格の上昇などから金利は上昇した後、米利上げ見送りなどから低下基調で推移しました。今期後半は、米利上げ観測などから上昇しましたが、米国や中国の景況感悪化などから大幅に低下して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利は低下しました。独10年国債利回りは0.15%となりました(前期末は0.18%)。ギリシャ債務問題や欧州の追加金融緩和を巡る思惑などを背景に、概ね米国債券市場と同様の動きとなりました。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を0.25%引き上げ、年0.25～0.50%としました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.05%引き下げ、年0.00%としました。

【外国為替市場】

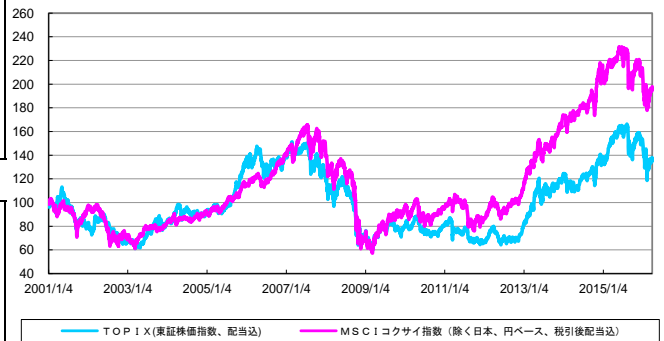
外国為替市場は、円安が進行した後、揉み合いながらも円高圧力が高まり、前期末比較で円高となりました。

米ドル/円相場では、前期末比7円49銭円高ドル安の1ドル=112円68銭となりました。今期前半は、根強い米利上げ観測などから円安が進行した後、中国経済の減速懸念などを背景に、揉み合いながらも急速に円高が進行しました。今期後半は、米国の利上げ観測などを背景に円安基調となった後円高に転じ、その後日銀によるマイナス金利導入決定などから一時円安となる場面もありましたが、米国での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などから、急速に円高が進行して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比2円62銭円高ユーロ安の1ユーロ=127円70銭となりました。今期前半は、ユーロ圏のデフレ懸念が後退したことなどを背景に、円安が進行した後、揉み合いで推移しました。今期後半も、ECBによる金融政策や日銀によるマイナス金利導入決定などから揉み合う展開となりましたが、英国のEU(欧州連合)脱退を巡る不透明感や独大手銀行の債券利払い懸念など欧州での信用不安が高まり、円高が進行しました。

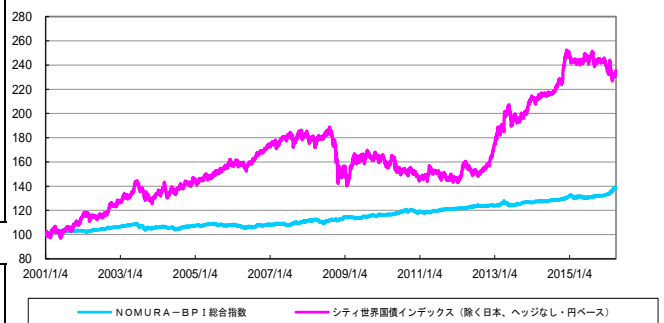
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

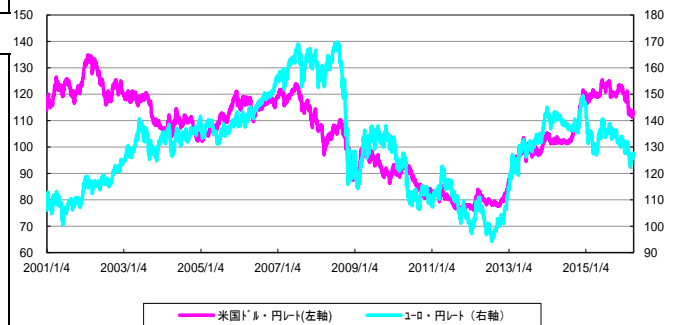


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ◆特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2015年4月～2016年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ①

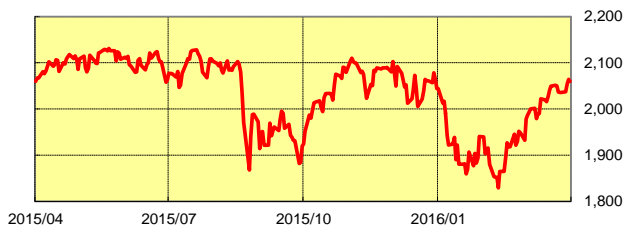
2016年3月末日現在

【運用コメント】

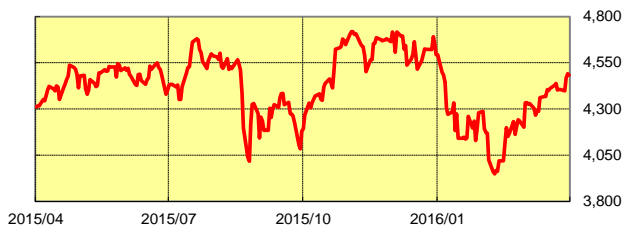
当特別勘定資産は、世界を代表する10株価指数の毎年の最高の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことにより運用しました。当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、世界の10株価指数のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【世界の10株価指数の推移】 (2015年4月～2016年3月)

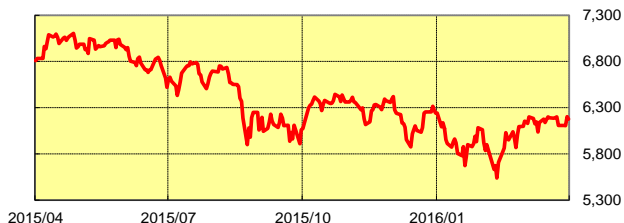
[S&P500(アメリカ)]



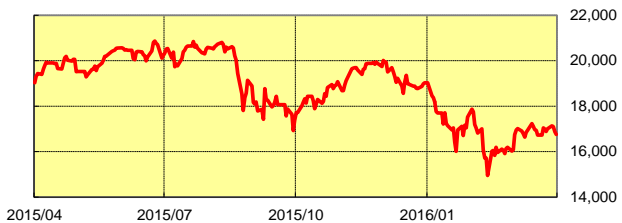
[NASDAQ100(アメリカ)]



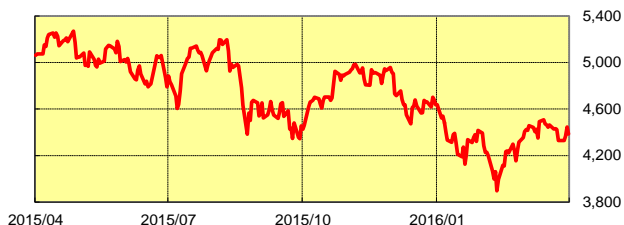
[FTSE100(イギリス)]



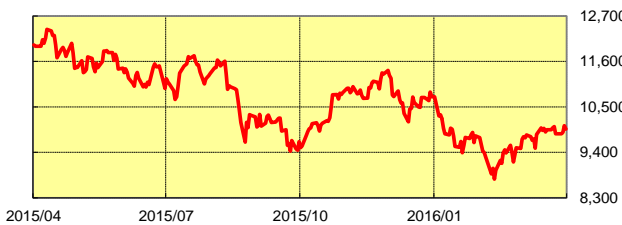
[日経平均株価(日本)]



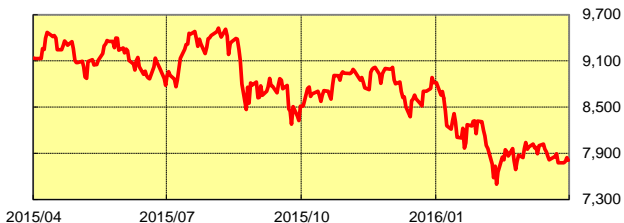
[CAC40(フランス)]



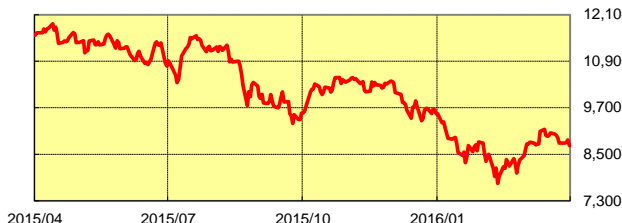
[DAX(ドイツ)]



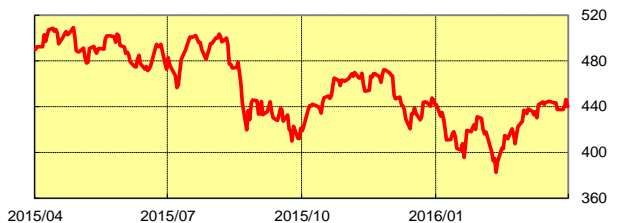
[SMI(スイス)]



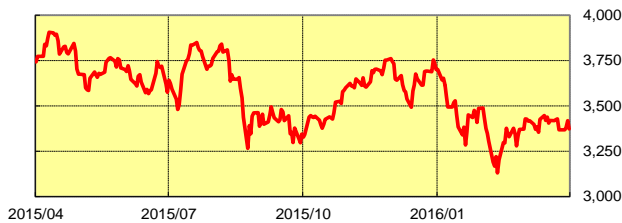
[IBEX35(スペイン)]



[AEX(オランダ)]



[BEL20(ベルギー)]



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2016年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2016年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率									
	第1保険年度末		第2保険年度末		第3保険年度末		第4保険年度末		第5保険年度末	
2006年5月1日	DAX	30.0%	NASDAQ100	2.2%	-	0.0%	NASDAQ100	47.7%	DAX	22.2%
2006年6月1日	DAX	42.7%	NASDAQ100	5.9%	-	0.0%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	26.1%
2006年7月1日	DAX	44.5%	-	0.0%	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ100	30.0%
2006年8月1日	DAX	28.1%	-	0.0%	-	0.0%	BEL20	16.8%	NASDAQ100	26.7%
2006年9月1日	DAX	28.0%	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ100	7.8%	NASDAQ100	26.2%
2006年10月1日	DAX	27.2%	-	0.0%	NASDAQ100	14.8%	NASDAQ100	16.9%	NASDAQ100	9.3%
2006年11月1日	DAX	24.4%	-	0.0%	IBEX35	29.3%	NASDAQ100	27.4%	NASDAQ100	13.0%
2006年12月1日	DAX	18.4%	-	0.0%	NASDAQ100	48.8%	NASDAQ100	21.4%	NASDAQ100	3.1%
2007年1月1日	DAX	19.5%	-	0.0%	NASDAQ100	56.3%	NASDAQ100	18.4%	NASDAQ100	2.3%
2007年2月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ100	47.5%	NASDAQ100	30.4%	NASDAQ100	8.5%
2007年3月1日	DAX	2.8%	-	0.0%	NASDAQ100	62.8%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	12.2%
2007年4月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ100	18.7%	NASDAQ100	17.9%
2007年5月1日	NASDAQ100	1.9%	-	0.0%	NASDAQ100	47.7%	DAX	22.2%	NASDAQ100	14.0%
2007年6月1日	NASDAQ100	4.6%	-	0.0%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	26.1%	NASDAQ100	8.6%
2007年7月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ100	30.0%	NASDAQ100	14.0%
2007年8月1日	-	0.0%	-	0.0%	BEL20	16.8%	NASDAQ100	26.7%	NASDAQ100	11.8%
2007年9月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ100	7.8%	NASDAQ100	26.2%	NASDAQ100	23.0%
2007年10月1日	-	0.0%	NASDAQ100	14.8%	NASDAQ100	16.9%	NASDAQ100	9.3%	DAX	27.9%
2007年11月1日	-	0.0%	IBEX35	29.3%	NASDAQ100	27.4%	NASDAQ100	13.0%	DAX	14.7%
2007年12月1日	-	0.0%	NASDAQ100	48.8%	NASDAQ100	21.4%	NASDAQ100	3.1%	DAX	27.6%
2008年1月1日	-	0.0%	NASDAQ100	56.3%	NASDAQ100	18.4%	NASDAQ100	2.3%	DAX	29.0%
2008年2月1日	-	0.0%	NASDAQ100	47.5%	NASDAQ100	30.4%	NASDAQ100	8.5%	日経平均株価	26.5%
2008年3月1日	-	0.0%	NASDAQ100	62.8%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	12.2%	SMI	22.2%
2008年4月1日	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ100	18.7%	NASDAQ100	17.9%	SMI	25.3%
2008年5月1日	-	0.0%	NASDAQ100	47.7%	DAX	22.2%	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	45.5%
2008年6月1日	-	0.0%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	26.1%	NASDAQ100	8.6%	日経平均株価	61.2%
2008年7月1日	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ100	30.0%	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	51.8%
2008年8月1日	-	0.0%	BEL20	16.8%	NASDAQ100	26.7%	NASDAQ100	11.8%	日経平均株価	57.1%
2008年9月1日	-	0.0%	NASDAQ100	7.8%	NASDAQ100	26.2%	NASDAQ100	23.0%	日経平均株価	51.4%
2008年10月1日	NASDAQ100	30.9%	NASDAQ100	16.9%	NASDAQ100	9.3%	DAX	27.9%	日経平均株価	62.9%

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2016年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2016年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2016年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率							
	第6保険年度末		第7保険年度末		第8保険年度末		第9保険年度末	
2006年5月1日	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	45.5%	NASDAQ100	24.6%	日経平均株価	36.4%
2006年6月1日	NASDAQ100	8.6%	日経平均株価	61.2%	IBEX35	28.0%	日経平均株価	40.5%
2006年7月1日	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	51.8%	IBEX35	41.1%	日経平均株価	33.4%
2006年8月1日	NASDAQ100	11.8%	日経平均株価	57.1%	IBEX35	29.3%	日経平均株価	31.7%
2006年9月1日	NASDAQ100	23.0%	日経平均株価	51.4%	NASDAQ100	32.8%	日経平均株価	22.4%
2006年10月1日	DAX	27.9%	日経平均株価	62.9%	NASDAQ100	25.2%	日経平均株価	7.5%
2006年11月1日	DAX	14.7%	日経平均株価	60.4%	NASDAQ100	21.1%	DAX	19.0%
2006年12月1日	DAX	27.6%	日経平均株価	65.8%	NASDAQ100	24.3%	BEL20	14.1%
2007年1月1日	DAX	29.0%	日経平均株価	56.7%	NASDAQ100	19.9%	BEL20	13.9%
2007年2月1日	日経平均株価	26.5%	日経平均株価	33.8%	BEL20	21.8%	NASDAQ100	3.1%
2007年3月1日	SMI	22.2%	NASDAQ100	34.9%	日経平均株価	26.6%	-	0.0%
2007年4月1日	SMI	25.3%	IBEX35	30.4%	日経平均株価	29.5%	NASDAQ100	2.4%
2007年5月1日	日経平均株価	45.5%	NASDAQ100	24.6%	日経平均株価	36.4%		
2007年6月1日	日経平均株価	61.2%	IBEX35	28.0%	日経平均株価	40.5%		
2007年7月1日	日経平均株価	51.8%	IBEX35	41.1%	日経平均株価	33.4%		
2007年8月1日	日経平均株価	57.1%	IBEX35	29.3%	日経平均株価	31.7%		
2007年9月1日	日経平均株価	51.4%	NASDAQ100	32.8%	日経平均株価	22.4%		
2007年10月1日	日経平均株価	62.9%	NASDAQ100	25.2%	日経平均株価	7.5%		
2007年11月1日	日経平均株価	60.4%	NASDAQ100	21.1%	DAX	19.0%		
2007年12月1日	日経平均株価	65.8%	NASDAQ100	24.3%	BEL20	14.1%		
2008年1月1日	日経平均株価	56.7%	NASDAQ100	19.9%	BEL20	13.9%		
2008年2月1日	日経平均株価	33.8%	BEL20	21.8%	NASDAQ100	3.1%		
2008年3月1日	NASDAQ100	34.9%	日経平均株価	26.6%	-	0.0%		
2008年4月1日	IBEX35	30.4%	日経平均株価	29.5%	NASDAQ100	2.4%		
2008年5月1日	NASDAQ100	24.6%	日経平均株価	36.4%				
2008年6月1日	IBEX35	28.0%	日経平均株価	40.5%				
2008年7月1日	IBEX35	41.1%	日経平均株価	33.4%				
2008年8月1日	IBEX35	29.3%	日経平均株価	31.7%				
2008年9月1日	NASDAQ100	32.8%	日経平均株価	22.4%				
2008年10月1日	NASDAQ100	25.2%	日経平均株価	7.5%				

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2016年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型

特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。

特別勘定資産評価額

2016年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2006年5月1日	1,772,466.74
2006年6月1日	3,033,041.61
2006年7月1日	2,274,506.83
2006年8月1日	1,114,917.11
2006年9月1日	1,347,443.35
2006年10月1日	1,507,479.54
2006年11月1日	874,357.07
2006年12月1日	567,973.06
2007年1月1日	893,648.08
2007年2月1日	305,326.82
2007年3月1日	441,160.07
2007年4月1日	929,753.06
2007年5月1日	419,929.41
2007年6月1日	401,333.89
2007年7月1日	473,481.09
2007年8月1日	508,247.79
2007年9月1日	557,898.54
2007年10月1日	414,484.34
2007年11月1日	187,358.13
2007年12月1日	431,018.06
2008年1月1日	183,158.60
2008年2月1日	190,355.12
2008年3月1日	163,587.62
2008年4月1日	212,396.27
2008年5月1日	94,238.92
2008年6月1日	96,973.83
2008年7月1日	61,245.04
2008年8月1日	48,179.12
2008年9月1日	130,716.52
2008年10月1日	143,991.52
合計	19,780,667.15

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2016年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2015年4月～2016年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率B(II型)
2006年 5月1日	4.25%	115%	59.80
2006年 6月1日	4.80%	120%	66.00
2006年 7月1日	4.80%	120%	67.40
2006年 8月1日	4.80%	120%	70.50
2006年 9月1日	4.80%	120%	71.10
2006年 10月1日	4.80%	120%	75.50
2006年 11月1日	4.80%	120%	74.10
2006年 12月1日	4.25%	115%	67.20
2007年 1月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 2月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 3月1日	4.25%	115%	62.40
2007年 4月1日	4.25%	115%	67.90
2007年 5月1日	4.25%	115%	64.80
2007年 6月1日	4.25%	115%	65.40
2007年 7月1日	4.80%	120%	68.20
2007年 8月1日	4.80%	120%	62.60
2007年 9月1日	4.80%	120%	60.80
2007年 10月1日	4.25%	115%	60.10
2007年 11月1日	4.25%	115%	53.50
2007年 12月1日	4.25%	115%	55.60
2008年 1月1日	3.85%	110%	50.60
2008年 2月1日	3.85%	110%	54.00
2008年 3月1日	3.40%	105%	45.00
2008年 4月1日	3.40%	105%	48.00
2008年 5月1日	2.90%	100%	48.20
2008年 6月1日	3.40%	105%	50.00
2008年 7月1日	3.40%	105%	45.80
2008年 8月1日	3.85%	110%	46.90
2008年 9月1日	3.85%	110%	44.60
2008年 10月1日	3.40%	105%	41.70

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は一時払保険料のうち一定割合の金額を特別勘定に繰り入れ、エクイティ・インデックス・スワップ取引により、所定の10株価指数に連動した運用を行う米ドル建の個人年金保険です。

※ 所定の10株価指数(S&P500、NASDAQ100、FTSE100、日経平均株価、CAC40、DAX、SMI、IBEX35、AEX、BEL20)の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る場合、またはまったくない場合があります。

【為替リスクについて】

この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。

年金や給付金などを米ドル建でお受け取りになる場合には、円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回る場合があります。同様に、お受け取り時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払い込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料を下回る場合があります。

【市場価格調整について】

基本払いもどし金額は、米国債券などの運用資産の価値が反映(市場価格調整)されますので、解約(減額)時の所定の市場金利により増減し、経過期間にかかわらず一時払保険料相当額を下回る場合があります。

【諸費用について】(下記の各費用の合計額をご負担いただきます。)

＜ご契約時にかかる費用＞

項目	費用
契約初期費用	契約時に一時払保険料から初期費用として 9.9% を控除します。

＜据置期間中にかかる費用＞

項目	費用
保険契約管理費	基本保険金額に対して 年率0.2% を責任準備金から控除します。
株価指数連動追加年金原資の管理費	基本保険金額に対して 年率0.16% を責任準備金から控除します。
為替手数料	<ul style="list-style-type: none"> 保険料円入金特約を付加して米ドル建の基本保険金額(一時払保険料)を計算する場合は、当社が保険料円換算額を受領する日のTTMLレート+90銭(円入金用レート)の為替手数料がかかります。 円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合は当社が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日のTTMLレート-40銭(円出金用レート)の為替手数料がかかります。なおこれらのレートは将来変更となることがあります。 ※ TTMLレートは、所定の金融機関が公示するその日最初のTTMLレート(対顧客電信売相場仲値)となります。
送金手数料	年金などを米ドル建でお受け取りいただく場合、当社からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。ただし、「円支払特約」を適用される場合には、当社が負担します。金額については送金する金額や取扱金融機関によって異なるため表示できません。

＜年金支払開始日以後にかかる費用＞

項目	費用
年金管理費	年金額に対して 1.0% を年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他重要な顧客不利益事項】

■ 米ドル建での基本年金原資保証

基本年金原資額の最低保証は米ドル建で行われるため、据置期間満了日の外国為替相場によっては、円に換算した基本年金原資額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 お問合せ先: カスタマーサービスセンター
 Tel 0120-375-193
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>